

## 様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

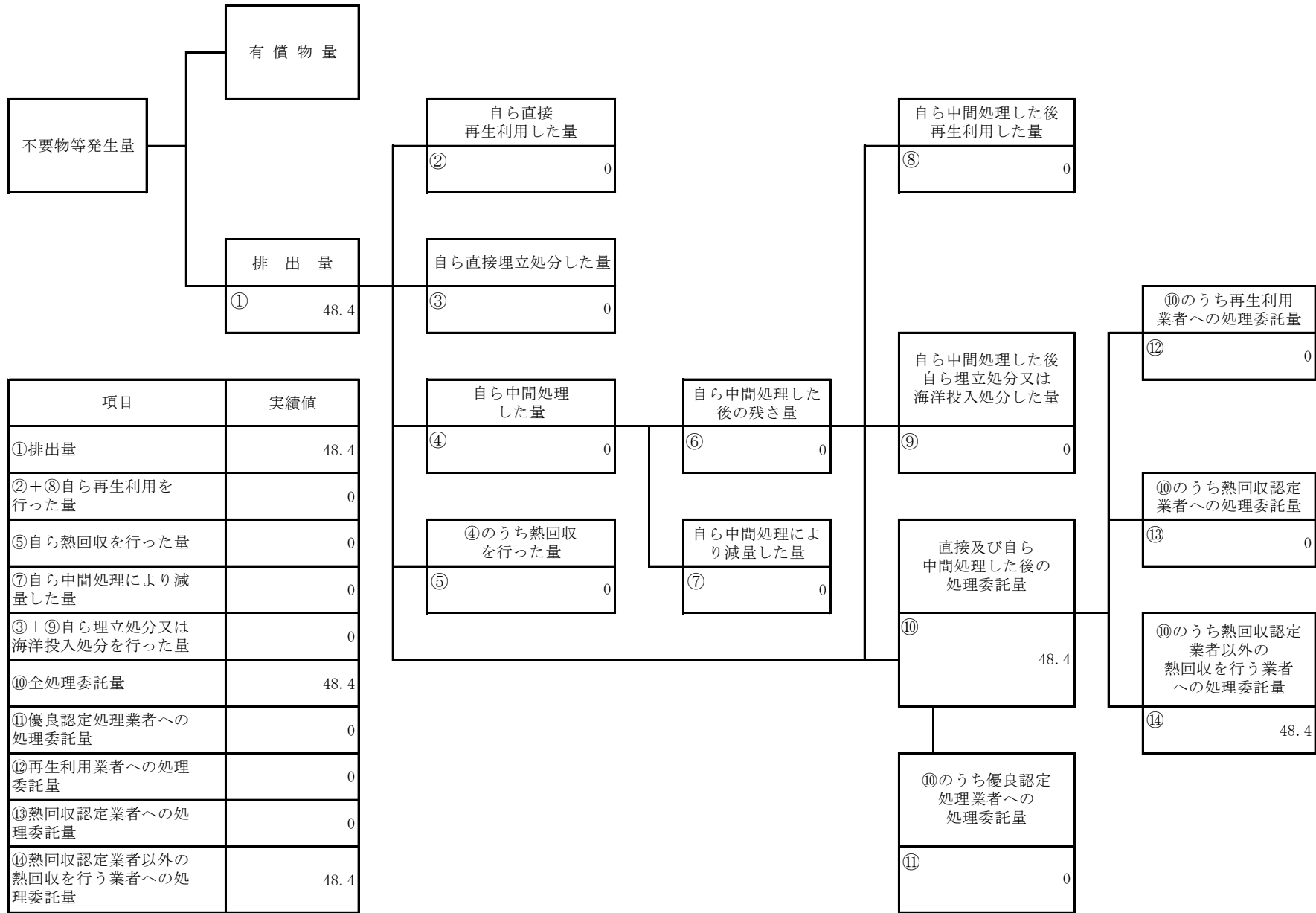
(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2024年 6月 19日			
北九州市長	様		
提出者 日鉄鋼板株式会社 九州製造所 住 所 北九州市若松区大字安瀬1番地 氏 名 九州製造所長 延壽寺 政昭 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 093-771-1080			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、2023年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	日鉄鋼板株式会社 九州製造所 (旧:東海カラー(株))		
事業場の所在地	北九州市若松区大字安瀬1番地		
事業の種類	塗装溶融亜鉛めっき鋼板等の製造業		
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日		
特別管理産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	引火性廃油: 61.6t pH12.5以上の 廃アルカリ: 17.4t	全処理委託量	引火性廃油: 61.6t pH12.5以上の 廃アルカリ: 17.4t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	pH12.5以上の 廃アルカリ: 17.4t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	引火性廃油: 61.6t
電子情報処理組織の使用に関する事項			
特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	前々年度	56.3t	
	前年度	67.0t	
(電子情報処理組織の使用に関して実施した取組) 2023年度はスポット契約で紙マニフェストで排出したが、それ以外の特別管理産業廃棄物の処理はすべて電子マニフェストを活用しており、新規取り組みは無い			
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

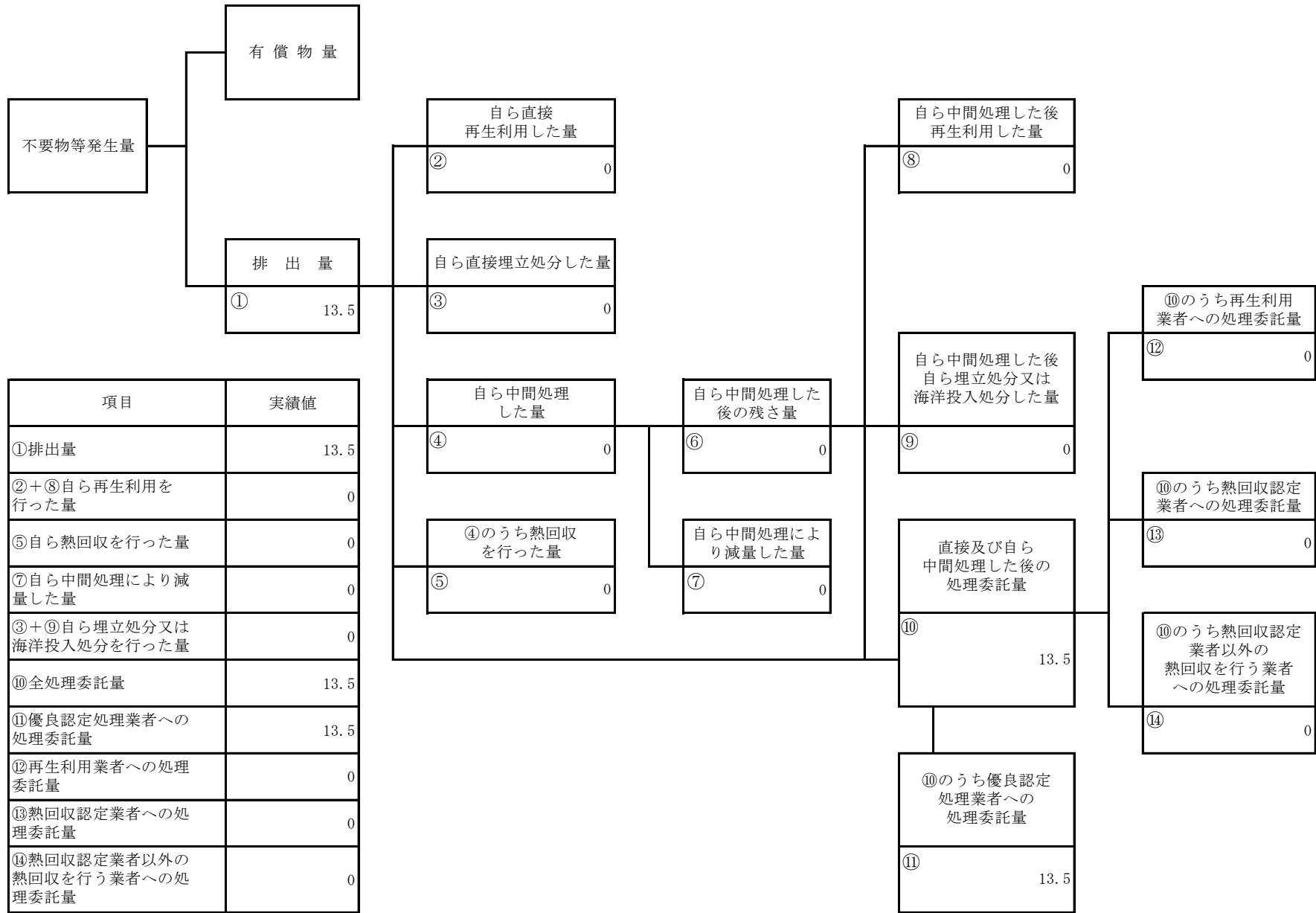
計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 引火性廃油)



計画の実施状況

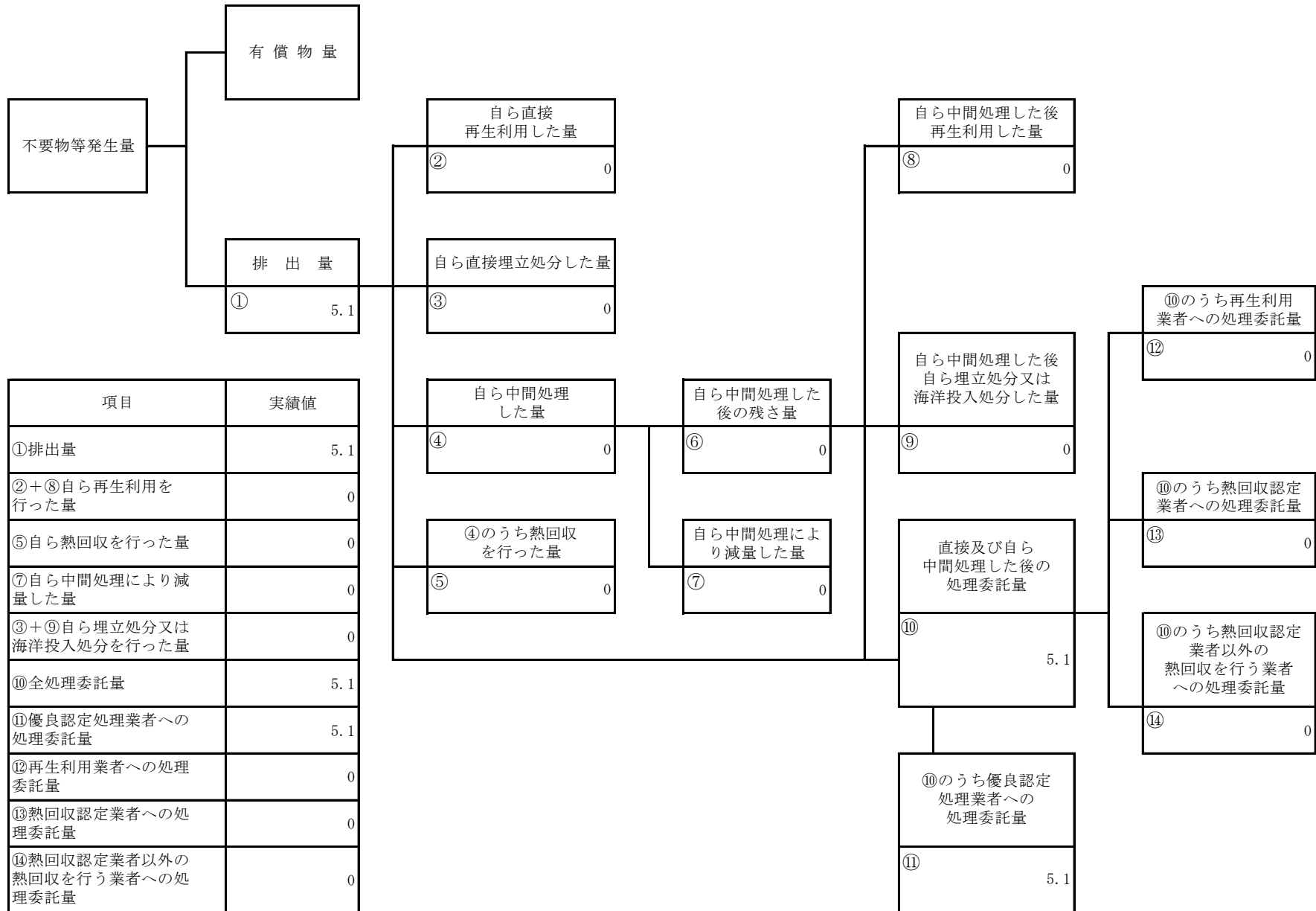
(特別管理産業廃棄物の種類： pH12.5以上の廃アルカリ)



項目	実績値
①排出量	13.5
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	13.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.5
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 汚泥)



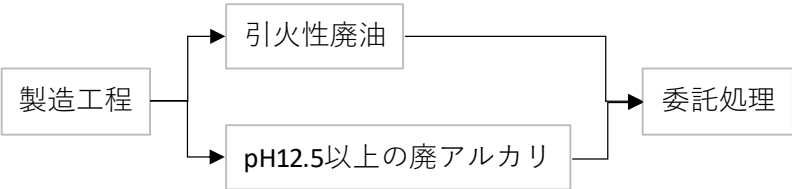
(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前々年度及び前年度における特別管理産業廃棄物の排出量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）並びに電子情報処理組織使用義務者にあつては前年度に実施した電子情報処理組織の使用に関する取組（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当したときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
2024年 6月 19日	
北九州市長	様
提出者	
住 所 北九州市若松区大字安瀬1番地	
氏 名 日鉄鋼板株式会社 九州製造所	
九州製造所長 延壽寺 政昭	
電話番号 093-771-1080	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄鋼板株式会社 九州製造所
事業場の所在地	北九州市若松区大字安瀬1番地
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	塗装溶融亜鉛めっき鋼板等の製造販売
② 事業の規模	前年度出荷額 : 72.3億円
③ 従業員数	50名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	 <pre>graph LR; A[製造工程] --&gt; B[引火性廃油]; A --&gt; C[pH12.5以上の廃アルカリ]; B --&gt; D[委託処理]; C --&gt; D;</pre>

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	<b>【前年度（2023年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油、汚泥	pH12.5以上の廃アルカリ
	排出量	48.4 t、5.1 t	13.5 t
	(これまでに実施した取組) 引火性廃油について、生産集約による塗料ロス削減、洗浄用シンナーの削減、発注量の見直し等により、廃棄物の発生量抑制を図った。		
② 計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH12.5以上の廃アルカリ
	排出量	45.4 t	13.8 t
	(今後実施する予定の取組) 引火性廃油について前年度同様に、生産集約による塗料ロス削減、洗浄用シンナーの削減により、廃棄物の発生量を抑制する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 特になし

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油、汚泥	pH12.5以上の廃アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は実施していない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH12.5以上の廃アルカリ
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら再生利用する予定はない		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油、汚泥	pH12.5以上の廃アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理はしていない		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH12.5以上の廃アルカリ
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら中間処理はしていない		



## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油、汚泥	pH12.5以上の廃アルカリ
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら埋立処分はしていない		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH12.5以上の廃アルカリ
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 自ら埋立処分する予定はない		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油、汚泥	pH12.5以上の廃アルカリ
	全処理委託量	48.4 t、 5.1 t	13.5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	48.4 t、 5.1 t	13.5 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	42.3 t	0 t
(これまでに実施した取組) 処理委託した引火性廃油は全量、発電、加熱用の燃料として使用されている			

②計画	<b>【目標】</b>		
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	pH12.5以上の廃アルカリ
	全処理委託量	45.4 t	13.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	45.4 t	13.8 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	45.4 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 前年に引き続き熱回収業者及び優良処理業者へ処理を委託する		
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（2023年度）実績】</b>		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	67.0 t	
	(今後実施する予定の取組等) 特別管理産業廃棄物はすべて電子マニフェストを利用している (2023年度はスポット契約で汚泥を排出したが、今後は排出見込みはない)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記

入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

9 ※欄は記入しないこと。